

川に関する思い出

五年 圓崎 波音

私は、利根川のことについて調べました。

利根川は、関東地方の北から東へ流れて太平洋の海につながる川です。日本を代表する最大級の川です。

昔、大水害があり、その地を守るために、川の流れをかえる大工事をして、今の太平洋に流すことになったそうです。

川には、深い所や浅い所もあり、千葉県に行

く道の目みき橋から見ている川は、少ないときには、下の土の部分が覚えていたので、ぜんぜん深いとは思っていませんでした。

利根川の水は、いろいろなことに使われています。

水田や果物、野菜など食べ物を作るのに使っています。

自然の一部として生き物を育てて、すこいなと思いました。

少し昔、東京で水不足になってしまい、利根

川の水を使い、人々の役にたつたそうです。

川の水を飲み水にするには、たくさんの方

ムと場所、手間がかかります。

そのダムは、川の上流にあります。

そして、その川の水が、きれいでたもたれて
います。

地域の子供や大人の人の手で、川のゴミ拾い
や川をよごさないようにして、きれいで、キレイ

な川の水がたもたれています。

私も進んでゴミ拾をして、きれいにしたいと

思いました。

利根川の川の流れを変える大工事をしてい

なければ、昔みたいに、何回も水害があり、

今、私たちが生活している場所も、なかり、た

かもしれないので、その工事があって本当に

良かったなと思いました。

これらのことを調べて思ったことは、生活

をするには、利根川の水がとても大切なこと

が分かりました。

利根川の水をよごさないように、心がけて、